

広報すぎなみ

# Suginami

10/1  
平成30年(2018年)  
No.2238



支えあい共につくる  
安全で活力あるみどりの住宅都市 杉並

大地震で被災!!  
…を「自分事」として考える。

6月に大阪で、9月は北海道で大地震が発生し、甚大な被害をもたらしました。首都直下地震もいつ起こるか分からない…。震災を「自分事」として考え、備えることは何より大切です。29年9月に続き、今号の地震被害シミュレーションでは、避難者予測やライフライン被害等の「見える化」を図りました。ご覧ください。



※東京湾北部を震源地とする「東京湾北部地震」(M7.3=マグニチュード7.3)を想定。

## Contents — 主な記事 —

7 | 不妊治療への助成を行っています 8 | 31年4月入園 私立幼稚園・区立子供園(短時間保育)の園児募集 9 | 連載 ウェルファーム杉並

〒166-8570 杉並区阿佐谷南1-15-1 | ☎ 3312-2111(代表) FAX 3312-9911(広報課直通) | 🏠 区ホームページ: <http://www.city.suginami.tokyo.jp/> | 📰 発行: 杉並区 | 📝 編集: 広報課

広報すぎなみは月2回(1・15日)発行。新聞折り込みのほか、区の施設・駅・コンビニエンスストアなどの広報スタンドに設置しています。



# 最先端の地震被害シミュレーション※を実施 首都直下地震に備えよう

※シミュレーション条件：冬の午後6時・風速8m/s

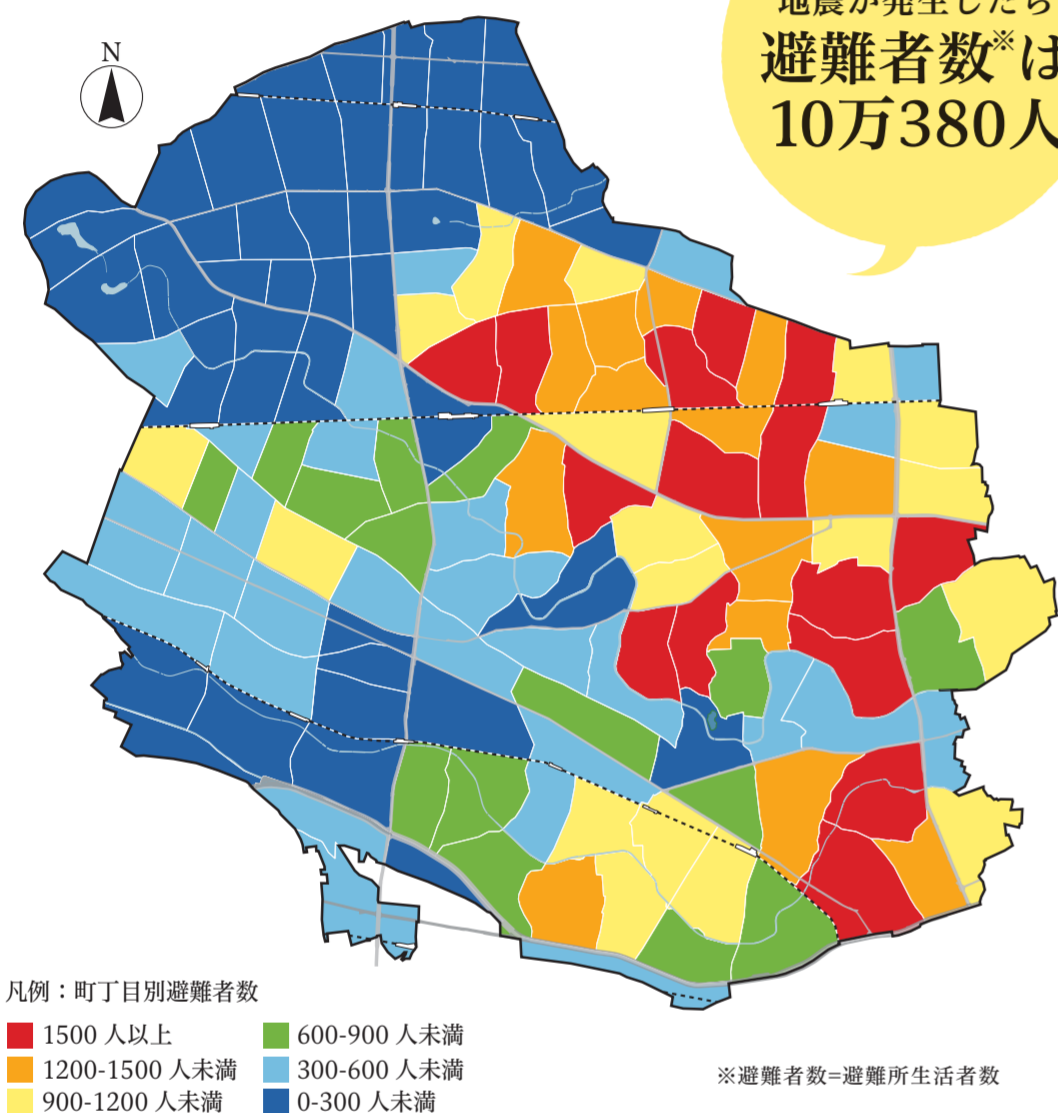


今後30年以内に非常に高い確率で、マグニチュード7クラスの首都直下地震が発生すると予想されています。区では、区民の皆さんに首都直下地震が発生した場合の被害がどうなるのかを知っていただくため、28年度に、区独自の50mメッシュ(50m×50m)による震度分布(1面参照)や建物被害のシミュレーションを行いました。

今回は、その結果を踏まえ、新たに避難者予測やライフライン被害等のシミュレーションを行い、さらなる被害の「見える化」を図りました。シミュレーションの結果が、区民の皆さん一人一人の防災・減災を考えるきっかけとなり、少しでも「災害に強いまち」に近づくことができれば幸いです。

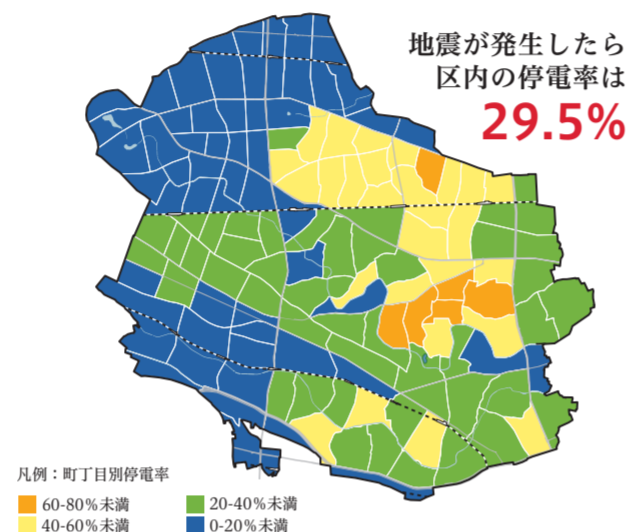
## 避難者予測

揺れや火災等による建物被害によって、どの程度避難者が発生するのかシミュレーションを行いました。



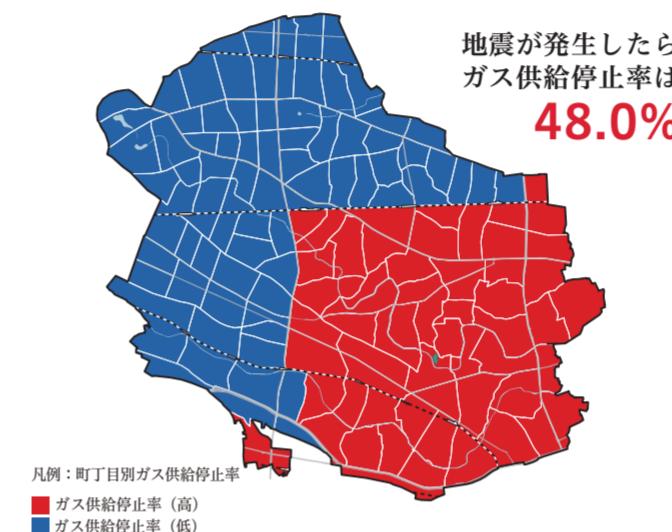
## 停電率

揺れや火災等による被害によって、どの程度停電が発生するかをシミュレーションを行いました。



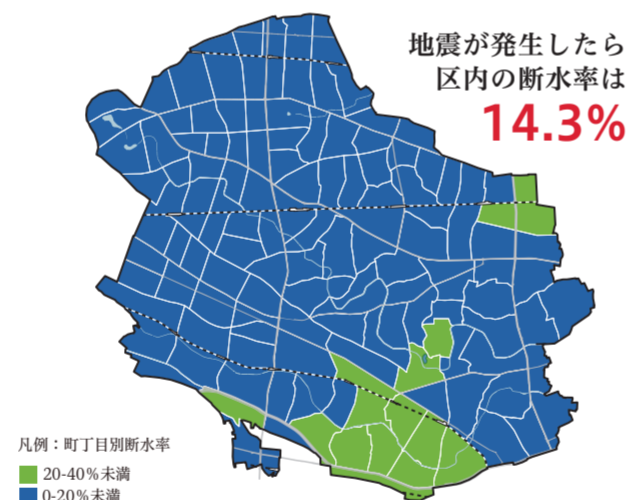
## ガス供給停止率

震度分布をもとに、ガスの供給が停止する可能性がある地域についてシミュレーションを行いました。



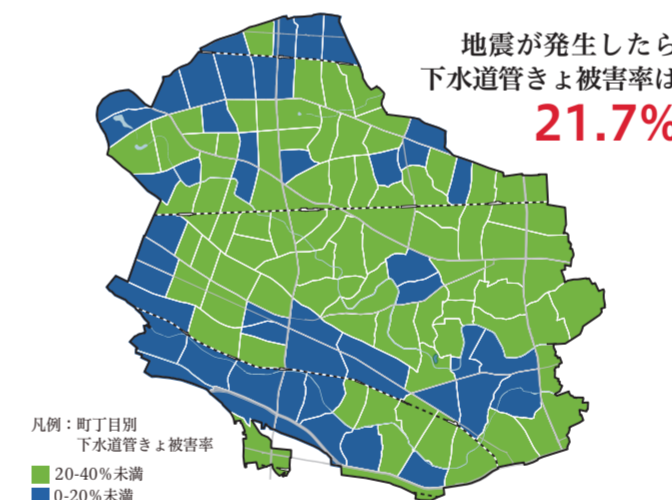
## 断水率

震度分布等をもとに、断水する可能性がある地域について、シミュレーションを行いました。



## 下水道管きよ被害率

震度分布等をもとに、下水道管きよが被害を受ける可能性がある地域について、シミュレーションを行いました。

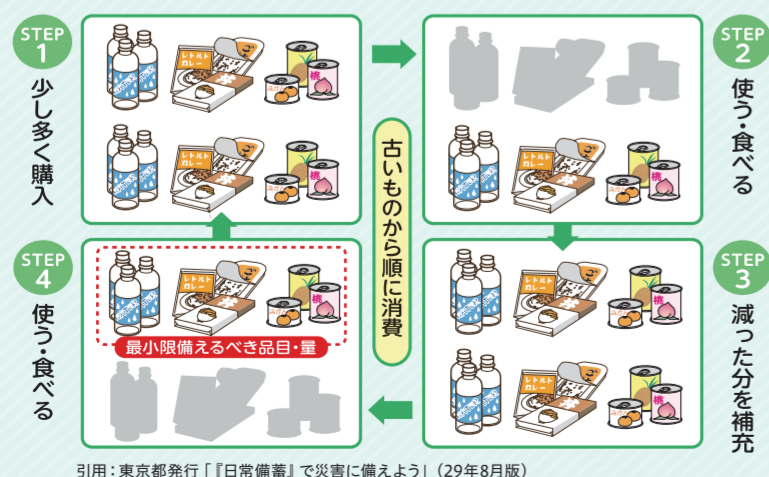


## 大地震に備えて今できること

地震の規模によっては、物資が届かない場合や、ライフラインの支障が長期間継続する可能性があります。日頃から災害に備え、いざというときに焦らず行動できるようにしておくことが重要です。

### 食料の備蓄

家族構成によって数量は異なりますが、最低3日間分の食料備蓄をお願いします。また、備蓄用品を置いておくスペースが無いなど備蓄が難しい場合は、右図のようなイメージで「日常備蓄」を行うことにより、日常生活の中で災害に備えることができます。



### ライフライン支障への備え

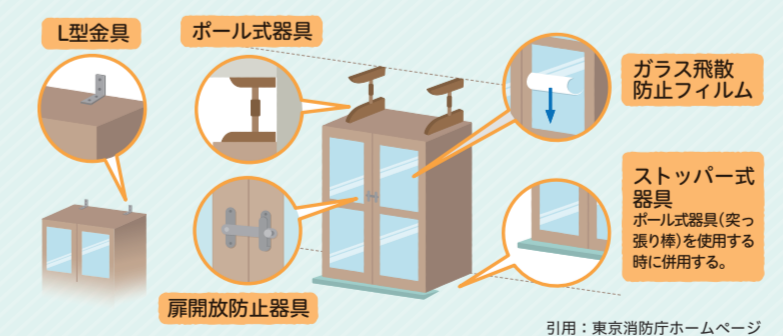
食料の備蓄と併せて、ライフラインの支障に対する備えも重要になります。カセットこんろや簡易トイレ、懐中電灯等を用意し、ライフラインに支障が生じても自宅で生活ができるよう準備をお願いします。

### 避難場所・避難経路等の確認

震災時に避難する場所(震災救助所や避難場所等)、避難経路などをあらかじめ家族で話し合っておくなど、日頃からの備えをお願いします。また、家族の安否を確認する複数の手段を決めておきましょう。確認手段には「災害用伝言ダイヤル」や、「災害用伝言板」等があります。

### 家具転倒防止対策の実施

転倒防止器具を使用して、家具類の固定をお願いします。また、自宅内の家具類の配置を確認し、寝室などよくいる場所には極力大型家具を置かないなど、工夫をすることによって自宅内の安全確保を図りましょう。



※区では、「防災用品のあっせん」を行っています。上記の物品の他にも多くの防災用品をあっせんしております。ぜひご活用ください。

## 被害を最小限にするために今できること

区民の皆さんと耐震化や不燃化に取り組むとともに、狭い道路幅整備などを進めていくことで、災害による被害を低減させることができます。区はそのための支援・助成をしています。

### 耐震化促進

昭和56年5月以前に建てられた建物や昭和56年6月～平成12年5月に建てられた木造住宅について、耐震診断・耐震改修費用などの助成や耐震化に関するアドバイザーの派遣を行います。



### 不燃化推進

災害時に延焼被害の拡大が特に懸念される地域や、震災救助所(区立小中学校等)周辺等において、耐火性能の高い建物を建築する方に建築工事費の一部を助成します。



### 狭い道路幅整備

4m未満の狭い道路(狭い道路)を4mに広げるために、現在建っている門や塀などの撤去費用の一部を助成します。



### 感震ブレーカー設置支援

設定した震度以上の地震を感知すると、自動的にブレーカーを落として電気を止める装置です。区では、設置を支援しています。



### CHECK!

「地震被害シミュレーション」の詳細は、区ホームページやリーフレット、防災地図アプリ「すぎナビ」などでご覧いただけます。  
<http://www.city.suginami.tokyo.jp/guide/kyukyujishinsoutei/index.html>



地震被害シミュレーションが杉並区の風景に重なるスマートフォンアプリ登場。

もっと知りたい  
首都直下地震

杉並区 地震被害想定 ARアプリ

無料

iPhone やAndroid 端末にインストールして利用するアプリです。アプリストアで「杉並区地震被害想定AR」で検索してインストールしてください。また防災地図アプリ「すぎナビ」からもダウンロードすることができます。



想定される被害レベルによって色分けされた情報や、被害様相を連想させるアニメーションが、実際の風景と重なって表示されます。今、自分がいる場所にどのような被害リスクが潜んでいるのかを、分かりやすく知ることができます。